

環境通信

問い合わせ先

環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202



Environment



Health



健康のすゝめ

がんの早期発見

第4回 菊池管内環境フェア

今回は「4Rで広げようエコライフ」というメインテーマのもと「マイバッグの普及」をサブテーマに菊陽町図書館ホールで開催します。

※4Rとは、ごみを発生源で絶つ(リフューズ)、ごみを減らす(リデュース)、繰り返し使う(リユース)、再び資源として利用する(リサイクル)以上の4つのRに取り組んで循環型社会を目指す取り組みです!

いろんな催しやリサイクル自転車をはじめその他賞品が当たる「お楽しみ抽選会」・マイバッグの無料配布などを計画していますので、ご家族そろってお越しください。

開催日 9月10日(日)

時間 午前9時~午後1時

※「お楽しみ抽選会」抽選券・マイバッグ配布時間

午前8時30分~9時

会場 菊陽町図書館ホール(杉並木公園隣)

この催しは、菊池環境保全組合の構成団体である菊池市・合志市・大津町・菊陽町と菊池環境保全組合で開催します。

ごみの減量化にご協力を!

現在合志市の燃やすごみは菊池市(泗水町地区)、大津町、菊陽町とともに菊池環境保全組合の東部清掃工場(大津町)で焼却処理されています。

しかし、現在24時間体制で処理を行っていますが、近年の人口・事業所などの増加により、平成24年には燃やすごみの量が東部清掃工場の処理能力をオーバーすることが見込まれています。

このような状況から菊池環境保全組合では、特に燃やすごみの減量化を推進しています。燃やすごみの減量化に有効な方法として、下記のことがあげられますので、ご協力をお願いします。

- 生ごみは十分に水切りをして(できれば乾かしてから)出す。
- 資源物として出せるものはできるだけ資源物として出す。
(コンビニ弁当などの容器も洗えば資源物Jです)
- 地域の廃品回収などを積極的に利用する。
- スーパーなどの袋は資源物Jへ出す。

★また、市では生ごみ処理機購入の補助を行っております。詳しくは環境衛生課までお尋ねください。



資源物分別のコーナー



今回は資源物A(びん・缶類)の分別についてです。びんは色ごとにガラス原料として、缶類はアルミ缶とスチール缶に分別後、それぞれ再利用されます。

<分別の注意事項>

- びんと缶は同じ袋に入れて出せます。
- 中は水洗いしてから出してください。
- 缶はつぶさずに出してもかまいません。
- のり・菓子などの缶も出せます。(4割程度まで)
- 塗料・オイル・毒劇物などの入っていた缶は出せません。(販売店や処理業者に引き取ってもらってください)
- スプレー缶は必ず穴を開けてから出してください。(ごみ収集車火災の原因になります!)



がんはここまで治るようになった

内

視鏡や特殊なレントゲン検査などの進歩により早期診断が可能になり、大方の人が手術を受けられるようになりました。日本中では、ガンを治した人々は100万人以上にもなります。胃がん、大腸がん、肝臓がん、子宮がん、乳がんなどの早期がんは、ほとんど100%治っています。早期発見が一番です。そして、そのためにはがん検診を受けることがその一歩です。



がん複合検診のお知らせ

種がん検診および骨粗しょう症検診を同日(約3時間程度)実施します。3月に市検診申込み票で申し込んだ人は、検診2~3週間前に問診票を送付します。まだ申し込みが済んでない人は、健康推進係までご連絡ください。なお検診は、9月末~11月初旬の19日間で実施します。詳しい日程・場所は問診票と一緒に送付します。

胃がん検診(胃X線検査) がんを早期発見し、た人の治癒率(5年生存率は、97%程度です。いまや胃がんは早く見つければ完全に治せる病気になっています。年に一度は、検診を受けましょう。



便潜血反応検査

大腸がんは年々増加しているがんです。初期症状は便に血が混じったり、便の表面に血液や粘液が付着するといったような血便が出ることも多いですが、自覚症状はほとんどありません。便の中の目にみえない微量血液を調べる便の潜血検査は早期発見の有力な方法といえます。

腹部超音波検査

肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、卵巣など腹部のさまざまな病変部を観察し、診断します。

子宮頸部細胞診

子宮がんの初期症状は、不正出血、おりものがあります。早期に発見するためには、無症状の場合も定期的に検診を受けることが大切です。

骨粗しょう症検診

前腕部で測定します。骨の密度を調べられます。過去に測定し正常値だった人は、2~3年に一度でいいでしょう。

今年から乳がん検診が変わります

乳房超音波とマンモグラフィ

マ ンモグラフィは、乳房を装置に挟んで圧迫しX線撮影する検査です。触診では見つけられないような小さながんが見つかる事があります。超音波検査は、しこりががんであるかどうかや、病変の広がりや診断するのに有用です。このように、2つの検査方法を組み合わせたり、隔年毎交互に受けるとより有効でしょう。

問い合わせ先

健康づくり推進課
健康推進係(西合志庁舎)
☎242-1183